

「出版契約ハンドブック」発行説明会	1
「本づくりの基礎講座」受講者募集中	2
第103回全国図書館大会開催	2
マスコミ倫理懇談会第61回全国大会	3

「出版契約ハンドブック」説明会及び 著作権実務講座同時開催

日本書籍出版協会は、出版における契約と著作権実務を解説する書籍「**新版 出版契約ハンドブック**」（298頁・A5判、定価 本体3,000円+税/日本書籍出版協会会員は頒価 2,500円）を8月21日に発行した。

本書発行に伴い、村瀬拓男氏（用賀法律事務所弁護士）を講師に迎え、本書の利用の仕方及び重要項目を解説する「出版契約ハンドブック」説明会と「著作権実務講座」を2部構成で開催する。

当日の講座参加者には、ハンドブック1部を贈呈する。概要は以下の通り。

■「新版出版契約ハンドブック」説明会及び「著作権実務講座」

講師：村瀬拓男氏（用賀法律事務所弁護士）

日時：10月5日（木）午後2時～5時

場所：日本書籍出版協会4階（新宿区袋町6）

対象：出版編集者、出版法務、編集総務向け

受講料：書協会員7,000円、一般10,000円

（「新版 出版契約ハンドブック（1部）」代含む・税込、当日支払い・領収書発行）

◇第1部「新版 出版契約ハンドブック」の使い方

内容(予定)：①出版契約書ヒナ型(書協版)の説明と、個社の事情に合わせたヒナ型変更の方法、②電子出版契約の注意点、③掲載許諾の取り方、④編集プロダクション・外部ライターとの契約について

◇第2部「著作権実務講座」

内容(予定)：①引用と転載の境界線～どの程度までなら許諾なく使用できるのか～、②「出版契約」以外の契約実務～編プロ・ライター・外部編集者・イラストレーター・デザイナー・写真家など～、③わかるようでわからない、編集著作権、職務著作（以上）

【申込先URL】

<https://goo.gl/forms/8NdDNnMeUJ1dtmDh2>

※申込みの際、著作権、出版契約等に関する質問を受け付けます。特に多かった質問などを当日の講義に反映したいと思います。なお、個別の質問にはお答えできませんので、ご了承ください。

（問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303）

「新版 出版契約ハンドブック」 注文受付中

日本書籍出版協会は、「新版 出版契約ハンドブック」（ISBN:978-4-89003-144-3、298頁・A5判、定価 本体3,000円+税/書協会員は頒価2,500円）を8月21日に発行した。

本書では、2014年（平成26年）の著作権法改正により、従来紙媒体の出版物のみを対象としてきた出版権規定が、いわゆる電子出版物にも適用されたことを受け、紙媒体の出版契約に加え、電子出版契約の解説、雑誌の出版権設定契約モデル、契約トラブル、実務上重要となる著作権法の基礎知識などを重点的に解説している。注文は、下記URLより注文可能。

<http://jbpa.or.jp/publication/index.html>

◎主なコンテンツ

第1章「出版契約を理解するために」

第2章「出版契約のABC」

第3章「出版契約書ヒナ型を読んでみる」

第4章「出版契約に関する実務」

第5章「電子出版で注意すべきこと」

第6章「掲載許諾と著作物の利用」

第7章「著作権制度を理解する」

第8章「契約上のトラブルと権利侵害」

付録資料付き



日本書籍出版協会

「本づくりの基礎講座」受講者募集

(一社)日本書籍出版協会は、出版社・関係者等を対象に、10月25日(水)・11月1日(水)(午後1時半～午後5時)の両日、「本づくりの基礎講座」を開催する。同講座は、昨年全日の日程であったが、受講者の要望を受け、半日ずつ2日間に分けて開くこととした。

1回目(10/25)は、本づくりの基礎を中心に、2回目(11/1)は、製作、校正、DTPなどを中心に行われる予定(2回セットの講義、原則1回のみ参加は不可)。受講料は1人会員社10,000円(資料費含む・税込。テキスト代別、昼食含まず)、非会員社は14,000円(同上)で申込み先着60名。以下、概要。

◇講師

大西哲彦氏(編集者・エディトリアルデザイナー・日本エディタースクール講師)

◇内容(予定)

10/25:本と紙の基礎知識、印刷と文字の基礎知識、文字組版と写真・図版の基本

11/1:文字組版の品質向上と編集・製作・校正、本づくりとDTP

◇テキスト

『標準 編集必携 第2版』(定価2,138円⇒頒価1,710円/日本エディタースクール発行)

※テキストをお持ちでない方はお申込みください。

受講申込みは10月13日(金)までに、申込み専用フォーム【<https://goo.gl/forms/GsVdRiVYC3QNYJoP2>】または、FAX(03-3268-1196)かE-mail(info@jbpa.or.jp)(①社名、②受講者名(部署名・編集経験の有無)、③テキスト申込み冊数、④担当者名(部署名)⑤連絡先(住所・電話・メールアドレス)を明記)で、当協会・調査部までお申込みください。

第103回全国図書館大会

東京大会開催

第103回全国図書館大会(主催:日本図書館協会)は、10月12日(木)・13日(金)の2日間の日程で、東京の国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区)にて開催する。今年は、「まちづくりを図書館から」をテーマに掲げる。

今年は、日本図書館協会の創立125周年を祝う式典が

開かれ、大会参加と併せての参加を呼び掛けている。

1日目は日本図書館協会記念式典、開会式、記念講演が執り行われる。今年の記念講演は、「世界の中の日本、日本の中の図書館」を演題として、寺島実郎氏(一財・日本総合研究所会長)が登壇し、今日における知の財産を次世代に共有継承することの重要性と課題について語る。記念講演終了後、懇親交流会が開かれる。2日目は、公共・学校・大学・専門図書館、障害者・児童・高齢者・市民サービスと支援、図書館の自由、多文化サービス、資料保存、出版、選書問題、職員・司書問題等の多彩なテーマで24の分科会が終日を通して行われるほか、5団体による展示や協賛企業によるブースが開設される。

参加費は、2日間で4,000円(1日参加は3,000円)、申し込みの締め切りは、9月22日(金)必着となっている。大会申込の詳細は下記参照。

http://jla-conf.info/103th_tokyo/index.php/registration

■全国図書館大会日程

1日目(10/12)11:30-12:30日本図書館協会創立125周年記念式典、12:30-13:30大会受付、13:30-17:00全体会(開会式・記念講演会)、17:30-19:00懇親交流会

2日目(10/13)8:30-受付、9:00-12:00/13:30-16:30分科会(分科会は午前の部と午後の部あり)及び展示会・協賛展示会、17:30-19:00日本図書館協会会員の集い(参加自由)

■第21分科会「出版と図書館」テーマ:公共図書館の役割と蔵書、出版文化維持のために

日本書籍出版協会の図書館委員会(持谷寿夫委員長)が中心となり、第21分科会を開催する。本分科会では、公共図書館と出版の関わりを多方面から考え、より充実した関係性の構築を目指すことを目的とし、出版と図書館をつなぐ「本」=「資料」の選書について出版からの視点を表明していく。

【基調報告】図書館界と出版界の協働(持谷寿夫・みすず書房取締役相談役)

【報告】

- ・出版と図書館を考える
(根本彰・慶應義塾大学文学部教授)
- ・文芸書系出版社の立場から図書館を考える
(松井清人・文藝春秋社長)
- ・専門書系総合出版社の立場から図書館を考える
(岡本厚・岩波書店社長)

(問合せ 同実行委員会 TEL03-3523-0814

E-mail:taikai@jla.or.jp)

マスコミ倫理懇談会 第61回全国大会（長野）開催

マスコミ倫理懇談会全国協議会（西野文章代表理事）は、9月28日（木）・29日（金）の2日間、長野県長野市・ホテル国際21にて、第61回マスコミ倫理懇談会全国大会を開催する。今年は、信濃毎日新聞社の井口弥寿彦編集局長、信越放送の長岡克彦取締役情報センター長が大会議長を務める予定。今大会は、「いま、メディアの信頼と役割は」をメインテーマに、実名報道、災害報道、報道と地方自治、デジタル時代の報道、国益とメディア、多様性・双方向時代の広告、メディアの法的責任と倫理的責任（広告）などを分科会テーマに取り上げ、メディアの信頼と役割を考える。

1日目は、午前中に作家の保阪正康氏の基調講演、午後に報道5分科会、広告2分科会で討議を行なう。終了後は懇親会が開かれる。2日目は午前中に全体会議、座長による分科会報告と全体討議の後、大会申し合わせの採択が行なわれる。開催概要は以下の通り。

◎プログラム

1日目（9/28）

○全体会議（午前10時～正午）

開会あいさつ、開催地代表あいさつ、大会議長・分科会座長団選出／全国協議会活動報告、基調講演「いま、メディアの信頼と役割は」（仮題）保阪正康（作家）

○分科会討議（午後1時～午後5時）

（A）実名報道の意義、（B）〈未災〉の取り組み—報道がすべきこと／できること、（C）報道と地方自治、（D）ネット時代に世論はどのように作られるのか、（E）国益とメディア—在日米軍基地、原発問題をどう報じるか、（F）多様性・双方向性の時代に求められる広告とは—インターネットCM事例を参考に～、（G）メディアの法的責任と倫理的責任—その責任の範囲は（以上）

○懇親会：午後6時～

2日目（9/29）

○全体会議（午前9時30分～午前11時30分）

各分科会座長報告と全体討議、大会申し合わせ採択、閉会あいさつ

○視察（午後1時～午後4時30分）自由参加

Aコース・長野五輪競技施設視察

Bコース・松代大本営地下壕跡視察

（問合せ 事務局 TEL 03-3591-3465）

【書協紹介コラム】 大好評～著作権講師派遣～

当協会では、会員サービスの一環として、会員社からの依頼に応じ講師を各社に派遣しての著作権基礎講座開催を今年度から開始している。

講義内容の一例としては、以下のようなものであるが、リクエストに応じて各社ごとにカスタマイズし、さらに事前に参加者からの質問を出してもらい、各社の出版分野や実務上の悩みに応えるような講義としている。講師は、当協会事務局で知的財産権委員会の担当をしている職員が当たっている。

【一般的な講義内容の例】

1. 著作権制度、出版権に関する基礎知識

- ①著作物とは
- ②許諾を受けるべき権利と使用料の意味
- ③保護期間（ア 基本的な保護期間、イ 写真に関する特例、ウ 保護期間に関する相互主義、エ 戦時加算、オ 翻訳権の10年留保）
- ④権利制限規定

2. 出版契約書の意義と必要性

- ①契約とは何か？
- ②契約書の重要性
- ③出版契約とは何か？
- ④「契約書」はどれを使えばよいのか？
（ア 契約の種類、イ 著作者と著作権者の違い、ウ 著作権（財産権）と著作者人格権、エ 著作物の種類、オ 利用の形態、カ 様々な関係者、キ 著作権以外で主張される場合がある権利、ク 出版社自体が持っている権利）

講義時間は、各社の要望に従って設定するが、質疑応答を含めて2時間程度が標準。当事業は、当協会の会員サービス向上の一環として開始されたもので、費用は無料。

同サービスは6月に開始して以来、既に約10社が利用しており、1回あたり10～20名が参加している。

○

この他、次のような会員向けサービスを実施しており、当協会への加盟メリットのPRに努めている。

- *幹部向けビジネスコーチング
- *出版ミニセミナーの充実
- *損害保険の団体割引制度の利用
- *新会員紹介制度の導入

詳細は、書協会員ページ、または下記まで。

（詳細問合せ 書協調査部 03-3268-1303

research@jbpa.or.jp）

出版統計

書籍	7月期	前年同月比	1～7月期	前年同期比	書籍出回り	7月期	前年同期比	1～7月期	前年同期比
新刊点数	6,065点	103.7	42,776点	96.7	推定出回数	6,909万冊	92.6	58,672万冊	95.3
新刊推定発行部数	2,588万冊	98.4	17,902万冊	98.0	推定出回金額	806億円	93.4	6,818億円	96.7
新刊平均価格	1,158円	101.5	1,179円	100.3	推定出回平均価格	1,166円	101.0	1,162円	101.8
新刊推定発行金額	300億円	99.9	2,111億円	98.3	実売部数	7月期	前年同期比	1～7月期	前年同期比
月刊誌	7月期	前年同月比	1～7月期	前年同期比	書	3,841万冊	92.9	36,077万冊	95.3
発行銘柄数	2,131点	99.1	2,773点	97.4	月刊誌	6,186万冊	82.4	49,382万冊	88.5
推定発行部数	11,520万冊	88.9	88,737万冊	92.5	週刊誌	3,003万冊	94.8	20,611万冊	90.1
平均価格	635円	100.6	638円	101.8	実売金額	7月期	前年同期比	1～7月期	前年同期比
推定発行金額	732億円	89.6	5,658億円	94.0	書	467億円	93.8	4,421億円	96.9
週刊誌	7月期	前年同月比	1～7月期	前年同期比	月刊誌	382億円	82.9	3,093億円	90.4
発行銘柄数	77点	106.9	79点	100.0	週刊誌	103億円	93.9	719億円	91.5
推定発行部数	4,820万冊	95.6	32,829万冊	93.1	実売金額合計	952億円	89.1	8,233億円	93.9
平均価格	352円	98.9	360円	101.7					
推定発行金額	170億円	94.5	1,182億円	94.7					

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
 - 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
 - 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
 - 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額
- [提供 出版科学研究所 (TEL:03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

9月12日(火) シンポジウム「テクノロジーが育てることば」

(於: 日経ホール)

内容: 対談「デジタルは創作をどう変えたか」長嶋有(小説家)×佐渡島庸平(編集者、コルク代表取締役) / パネル討論「ソーシャル・ネットワークと情報リテラシー」河野勝(政治学者、早稲田大学教授)、堤未果(国際ジャーナリスト)、佐渡島庸平、モデレーター・関口和一(日本経済新聞社編集委員)

詳細: <http://www.mojikatsuji.or.jp/katsudou.html#dejitaru>

問合せ先: 文字・活字文化推進機構(03-3511-7305)

9月17日(日)・18日(月・祝) 言語活動推進フォーラム「日本を見つけた! 語りと体験のわくわくパーク」(於: TKPガーデンシティ横浜)

内容: 古今亭文菊「THEこども奇席」、飯野和好氏による読み聞かせワークショップなど

詳細: http://www.mojikatsuji.or.jp/wakuwaku_kanagawa.html

10月9日(月・祝) 午後1時30分～4時 シンポジウム「学校図書館の出番です」(於: びわ湖ホール 小ホール、大津市打出浜15-1) / 定員300名 / 入場無料。登壇者: 安藤忠雄(建築家・東大名誉教授)、川端達夫(衆院副議長)、他

詳細: <http://www.mojikatsuji.or.jp>

編集後記

会員サービスの出張・著作権講座。その会社に合った形にカスタマイズした講座ができると評判です。手前味噌で恐縮ですが、とても贅沢でよいサービスだと思います。ぜひご活用ください。(あ)

出版契約ハンドブックを無事発行することができました。平成26年の著作権法改正では、電子出版物にも出版権の設定ができるようになり、著作物が様々な媒体、多様な方法で読者・ユーザーに届けられる現代において、「出版契約」の重要性は益々高まるばかりであることを痛感しています。(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL: 03-3268-1301

FAX: 03-3268-1196

書協Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>